

令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 諫早



○事業所名	COMPASS諫早		
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日	～	令和7年9月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 17名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	令和7年9月5日	～	令和7年9月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月18日		

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れ、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当ごとに事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 複数の地域に事業所があるため、不明な点などは指定権者に確認を行い、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通ってくる事業所、成長を感じられる事業所、安心して通ってもらえる事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでいます。
2	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解ができるように努めております。	毎回連絡アプリや送迎時にその日の療育内容や児童の様子をお伝えし、保護者様からはご家庭での様子をお伺いし、情報共有に努めております。 また、保護者様からのご相談などを受けた場合には適切な助言をおこなうよう努めております。	今後も、保護者様との日頃からの会話を大切にし、気軽に相談していただける信頼関係の構築に努めてまいります。 また、職員間で話し合う機会を多く設け、より保護者様からの相談に的確なアドバイスができるよう努めてまいります。
3	活動プログラムが固定化しないよう工夫しております。	学習支援だけでなく、季節の製作活動や集団活動を取り入れ、療育内容が固定化しないよう工夫しております。 また、作業療法士や理学療法士が在籍しており、巧緻性の向上や身体の使い方の指導、日常生活におけるお困りごとへの支援もおこなっております。	今後も、職員間で連携を取りながら、活動内容が固定化しないよう、一人ひとりに合わせた支援に努めてまいります。 また、その内容が保護者様にも伝わるよう配慮してまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等を開催する等の保護者様同士で交流する機会を設けることは現在できておりません。	コロナ以降、感染拡大防止や保護者様の就業状況の観点から、保護者様同士での交流会の開催は控えている状況です。	今後は保護者様のご意向を把握したうえで、必要に応じて開催の検討をしております。
2	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営は現在できておりません。	コロナ以降、感染拡大防止や個人情報保護の観点から、地域交流は控えている状況です。	保護者様のご意向を把握したうえで、利用児童の安全を最優先に考え、可能な範囲で取り組みを検討してまいります。
	ご家族様に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)やご家族の参加できる研修の機会を設けることは現在できておりません。	児童への支援を中心として、各ご家庭への個別的な対応に重点を置いてきたため、対応できる職員体制が整っていません。	今後も個別での保護者様からのご相談などには丁寧に助言などの対応をおこなってまいります。 また、機会を見つけて研修等へも積極的に参加し、職員のスキルアップに繋げてまいります。



公表日：令和8年4月10日